

議会報告会報告書

平成27年8月4日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B 班

代表 下瀬 俊夫

平成27年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成27年 7 月 29 日 (水) 19:00 ~ 21:00

2 開催場所

出合 公民館

3 参加人数 (市民)

6 人

4 担当班議員名

(下瀬 俊夫) (石田 清廉) (大井 淳一郎) (笹木 慶之)
(杉本 保喜) (中村 博行)

5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (中村 博行) [司会] (下瀬 俊夫)

② 民生福祉常任委員会 (石田 清廉) [記録] (中村 博行)

③ 産業建設常任委員会 (大井 淳一郎) [受付] (笹木 慶之)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (杉本 保喜)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 全国的にパートの手当が上がっているが、オートの社協を含めたパート従業員の手当はどうか。

[回 答]

民間企業の日本写真判定と包括的民間委託契約をしているため、従業員の給与等には触れられない。社協は社協内部で協議され、決定している。

- ② オートの議案に対し、負債の返済計画も示されない状況で全員賛成と言うのは納得がいかない。

[回 答]

負債の返済計画については、委託先が日本トーターから委託条件が異なる日本写真判定に変わったので早急に示すように強く指摘をしている。オートに関しては、執行部も議会も危機感を持っており、双方が売上向上に向け協力しあっている。ロゴが入った名札もその一環である。

- ③ 斎場について行政の市民説明があったのか、また土地の買収は終わっているかどうか。

[回 答]

行政の説明は法定範囲居住の住民に対してのみ行っているが、その周辺住民への説明も必要であるとの判断から委員会が出向いて意見交換会を実施した。土地の買収は終わっている。

- ④ 委員会が独自に市民要望を聞いても、市当局が財政的にできないとなれば、議会は何をしたのか、うそをついたことにならないか。

[回 答]

勿論やれることと、やれないことはある。委員会が行政の届かないところを補完するということである。

- ⑤ 新火葬場では告別式もできるのか。

[回 答]

火葬だけである。

- ⑥ 火葬場で告別式もできない施設では、市民サービスにならないのではないかと。委員会でそのような意見は無かったのか。

[回 答]

業者の意見など様々な意見も聞いたが、基本計画に斎場は入っていない。

- ⑦ コミュニティスクールはいいと思うが、先生はとても忙しい。教職員の一番大切なことは子供と触れ合うことである。現場の意見を聞いているのか。これは市が手を挙げたのか、それとも学校が手を挙げたのか。

[回 答]

校長が学校運営方針等を文章で申請後、吟味され認定される。現在市内に9校が指定されている。山口県は先進地にあたり、今後も推進していく。

- ⑧ 参加者は少ないが、今ある地域懇談会を充実し、活用した方がよいのではないか。要望である。
- ⑨ プレミアム商品券について、国から出たからやるが、市費は一切出さない。売れ残りが多など行政の姿勢、取り組み方に問題があるのではないか。

〔回 答〕

3月の一般会計予算委員会でも、千円券では使い勝手が悪い、往復はがきの活用、1人1セット、利用期間の問題など多くを指摘し、可決はしたものの、改善を求めた。その後、産業建設委員会での質疑から五百円券に改めたり、利用期間を1月15日まで延長するなど改善はされた。しかし、現状3分の1しか売れておらず、8月4日の委員会で市民の要望、意見などを反映させたい。

- ⑩ 幹線道路について、湾岸道路の延伸、国道316号、公園通りの渋滞緩和、これらは議会と執行部が一体となって、共に要求すべきだと思うがどうか。

〔回 答〕

湾岸道路は、計画上はつながっているが、サンパークで途切れている。声を挙げていきたい。316号は高千帆周辺の買収が進む予定と聞いている。公園通り周辺の拡幅は測量も終わり、今後進んでいく。

- ⑪ JR小野田線には1,200万円の予算措置がしてあるが、美祢線には予算化がないのはどうしてか。

〔回 答〕

小野田線は100周年での予算化である。以前取り組んだ美祢線活性化が実を結んでいない。また、小野田線から美祢線への連結も重要と考えている。

※ 平成27年度当初予算で、小野田線関係は80万円、美祢線関係は130万円の予算措置がなされている。

- ⑫ 美祢線に長門市や美祢市は市費をつぎ込んでいるが、山陽小野田市は何もしていない。旧小野田市民が、まちづくりのためにも厚狭駅を重視し、活用する声を挙げて欲しい。また、駐車場の活用についても工夫がいるのではないか。

〔回 答〕

厚狭駅の駐車場の料金は高いが、償還の関係もあり、委員会で協議している。小野田線、美祢線の連絡については、JRがらみで簡単ではないが、努力を重ねていく。

- ⑬ 理科大の公立化について、12月に市長の裁量権で決定したことを受けて、議会はこの間何をしていたか。

〔回 答〕

3月に特別委員会を設置し、7回委員会を開催して、財政計画を求めたり、受験状況の把握などしてきた。また、理科大や高知工科大の視察調査を実施した。7月臨時会で、公立化の定款を含む3議案を可決したところである。討論では、

「市民説明が不十分である。人口6万の市で大学を持つべきではない。」などの反対討論に対し、「人口減に歯止めをかけ、若者定住を図る千載一遇のチャンスである。閉校によるイメージダウンを回避すべき。」の賛成討論があった。

- ⑭ 行政がアップ、アップ状態の中で、大学にすべて人事権を持たせ、金だけ出せということで、議会はどうか対処するのか。

〔回 答〕

市長コラムでそういう記載があったが、訂正され、定款でも理事長の任命権者は市長となっている。学長なども会議で決定となっている。

- ⑮ 理科大の公立化で、山口県や宇部市が断った理由は分かっているか。

〔回 答〕

うわさ程度で、詳細については承知していない。

- ⑯ 市に運営能力はないと思うし、任期の上からも市長に判断する資格はない。本当に薬学部ができると思っているのか。また、遊んでいる施設や、不良債権の調査はしたのか。

〔回 答〕

シミュレーションで、定員ベースでも経営は成り立つ。今後は附帯決議を受けて全庁体制で臨むことから、財政課の厳しいチェックも入ってくる。第三者によるシミュレーションについては、意見を上げたい。薬学部の設置は理科大公立化とのセットである。また、施設や機器の更新については、要望をすべて受け入れ、東京理科大学が8億円を負担することが決定している。

- ⑰ 今後は薬剤師の資格取得の割合が重要だが、良い先生の確保はできるのか。

〔回 答〕

その通りである。教授陣は姉妹校の連携から東京理科大学に依頼することとなっている。

- ⑱ 防災が言われているが、桜川・大正川の寄り洲、へドロ、両岸の草の状況を見に来て欲しい。ひどい状況にある。議会からも県土木へ、早期の工事完了を要望して欲しい。

〔回 答〕

上流の工事が関係していることも考えられるので、委員会として検討したい。